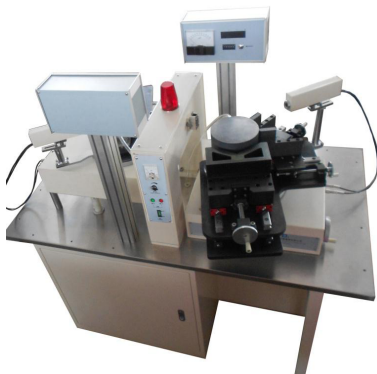


丹東新東方晶体技器有限公司
X線結晶方向測定装置 DX-7BG



単結晶の Wafer 及び Ingot の結晶方位検査を
目的別に行う検査装置です。

その為、二つの作業台（Wafer 面測定・オリフラ面測定・ノッチ方位測定 / Ingot 端面）を備えています。
測定可能サイズは、Wafer: Dia 2～8インチ、Ingot: Dia 2～8インチ / 最大長さ 300mm

丹東新東方晶体技器有限公司

X線結晶方向測定装置 DX-7BG

測定

試料を試料台のジグに固定（手動）設置後、測定開始ボタンを押すとゴニオメータが走査して、X線回折線強度を計測、その最強位置のピーク位置の角度を表示します

1回の測定時間は約5秒です。

角度の表示は「度 分 秒」です。

測定前準備

- 1) 試料結晶の測定格子面と、その回折X線角度（測定角度 θ ）の決定
- 2) 標準試料により設定補正
- 3) 想定オフセット角の設定（ ω 走査角度範囲の設定）
- 4) 試料結晶位置決めジグの設定（結晶サイズごとに設定）

装置の仕様

X線発生部	管電圧	30KV（1点プリセット式）	管電流	1mA（1点プリセット式）
	X線管	Cu 空冷式	安全保安回路付き	
X線光学系	$\theta-2\theta$ 走査ゴニオメータ			
	X線焦点 - スリット - 試料 - 検出器		200～300mm	
	設置角度（ $\theta/2\theta$ ）		測定走査角度設定範囲	
X線検出・計測部	検出器			
	測定操作	測定 スタート／ストップ釦		
	測定結果表示	ピーク位置角度エンコーダー デジタル表示		
X線窓シャッター	測定 スタート／ストップ釦と連動			
防X線カバー	X線窓開閉 フェールセーフ連動			
設置設備条件	電源	単相 220V±10%	300W	1個
	接地接地抵抗 100Ω以下			

届出：本装置の使用には電離放射線障害防止規則、労働安全衛生規則に基づいて、設置の届出が必要です。